

殺虫剤
ノバルロン乳剤

カウンター乳剤

農林水産省登録 第21303号
(株)エス・ディー・エス バイオテック登録)

性状：黄色澄明可乳化油状液体
毒性：普通物（毒物及び劇物に該当しないものを指している通称）
危険物：第四類第三石油類
有効年限：4年
包装：250mℓ×20, 500mℓ×20

有効成分：ノバルロン（化管法第2種）・・・・・・8.5%

殺虫剤分類 **15**

カウンターはイスラエル国アダマ社の登録商標です。

- 特長**
- 主要な害虫に対して効果の高い、キチン合成阻害による新規脱皮阻害型殺虫剤です。
 - 殺虫効果の持続性に優れています。
 - 人畜、魚介、環境への安全性が高いです。
 - 寄生蜂、捕食性ダニ類などの天敵類やミツバチ、マルハナバチなどの訪花昆虫に対し影響が少なくIPMに適しています。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ノバルロンを 含む農業の 総使用回数
キャベツ	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
ブロッコリー	ハイマダラノメイガ	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	2回以内	散布	2回以内
カリフラワー	ハスモンヨトウ	2000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	2回以内	散布	2回以内
レタス	オオタバコガ ハスモンヨトウ	3000倍	100～ 300ℓ	収穫3日前 まで	3回以内	散布	3回以内
非結球レタス	オオタバコガ ハスモンヨトウ	3000倍	100～ 300ℓ	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内
しそ しそ（花穂）	ハスモンヨトウ	2000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
なす	コナジラミ類 オオタバコガ ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	4回以内	散布	4回以内
	アザミウマ類	2000倍					
トマト ミニトマト	コナジラミ類 オオタバコガ ハスモンヨトウ	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	1番花の 開花まで	4回以内	散布	4回以内
	ハモグリバエ類 アザミウマ類	2000倍					
ピーマン	オオタバコガ	3000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	4回以内	散布	4回以内
いちご	アザミウマ類 ハスモンヨトウ	2000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	4回以内	散布	4回以内
アスパラガス	オオタバコガ ハスモンヨトウ	2000倍	100～ 300ℓ	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10アール 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ノバルロンを 含む農薬の 総使用回数
にんにく	ネギコガ	2000倍	100～ 300ℓ	収穫3日前 まで	2回以内	散布	2回以内
てんさい	ヨトウムシ	2000～ 3000倍	100～ 300ℓ	収穫7日前 まで	2回以内	散布	2回以内
		750倍	25ℓ				
	カメノコハムシ アシダラハモグリバエ シロオビノメイガ	3000倍	100～ 300ℓ				
ふき	ハスモンヨトウ	2000倍	100～ 300ℓ	収穫14日前 まで	2回以内	散布	2回以内
きく	アザミウマ類 オオタバコガ	2000倍	100～ 300ℓ	発生初期	5回以内	散布	5回以内
花き類・観葉植物 (きくを除く)	アザミウマ類	2000倍	100～ 300ℓ	発生初期	5回以内	散布	5回以内

使用上の注意事項

- 本剤の所定量を所定量の水にうすめ、よくかきまぜてから散布してください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 本剤は植物体上での浸透移行性がないため、葉裏にも十分かかるように散布してください。
- 本剤は幼虫の脱皮を阻害して死亡させる性質を持つ薬剤であるので、幼虫期になるべく早く散布してください。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、散布された薬剤が飛散し付近の桑に付着するおそれのある地域では使用しないでください。
- 本剤の抵抗性の発達を防ぐため、作用性の異なる他剤との体系散布を行ってください。
- トマトの果実には薬害の生じるおそれがあるので、開花の始まったほ場又は施設等では散布しないでください。
- ピーマンに使用する場合、他の農薬と混用又は展着剤等を加用すると、薬害を生じるおそれがあるので、混用はさけてください。
- しそに使用する場合、気門封鎖型殺虫剤との混用は薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- てんさいに対して希釈倍数750倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 危険物第四類第三石油類に属するので火気には十分注意してください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- 火気や直射日光をさげ、食品と区別して、低温で子供の手のとどかない場所に密栓して保管してください。